

〔大城 勝議員 登壇〕

○7番 大城 勝君 初めてのことで、こうやってマスクをしながら口から物を出すということは不慣れなものですから、失礼しました。7番議員、大城 勝です。午後の2番手です。これから通告書に従い、2つの大きな一般質問をいたします。

その1つ、問1、防災行政無線の有効活用。(1)新型コロナウイルス感染症予防対策に、防災行政無線がいかに有効活用できたかを問う。①防災行政無線での広報活動に至った経緯を問う。②アナウンスの内容を問う。③アナウンス情報をいかにして収集したかを問う。④アナウンス情報に対する町民の反応はどうかを問う。(2)アナウンスの内容に「不要不急の外出は控えよう」とある。そのアナウンスの真意が町民にどの程度伝わったとの認識か。(3)防災行政無線システムは、活用において課題は何か。

次に大きな問2、バス停留所の時刻表示板について。(1)生活路線バス確保対策事業とは何か。路線バスを利用する町民の利便性を図る目的にあると理解するが、どのような認識か。(2)町内の路線バスの停留所は幾つあるか。(3)バス停留所の通過予定時刻表示板の文字が小さく見づらい。交通弱者の高齢者でも見やすい時刻表になるように、文字、数字の書体や色、形などに工夫した時刻表示板を要望できないか。(4)夜間、バス停に電灯がついていない。時刻表の確認や保安上のためにもバス停に灯りが当たるような工夫ができないか。以上質問します。ご答弁をよろしくお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは質問事項1点目の防災行政無線の有効活用の(1)について①から④まで順次お答えします。①、沖縄県が沖縄県緊急事態宣言を発出したことから、町では防災行政無線による広報活動を行いました。②、不要不急の外出を控え、手洗いとマスク着用を徹底する内容です。③、沖縄県が公表した情報等から収集しました。④、アナウンスを通して町民の皆様が感染防止拡大の行動を取っていただいたと認識しております。

(2)についてお答えします。防災行政無線を含め、様々な媒体を通して不要不急の外出自粛の真意が町民へ伝わっていると認識をしております。

(3)についてお答えします。防災行政無線システムは、風雨が強いとき及び窓を閉めている状態だと聞きづらいという課題があります。そのため、無線放送以外にもホームページや公式LINE、災害時のエリアメールなどを活用し情報を発信しております。

質問事項2点目のバス停留所の時刻表示板について、(1)についてお答えします。生活バス路線確保対策補助金は運送収入のみでは路線を維持していくことが困難な赤字路線について、赤字分を補うことで、地域住民の生活に必要なバスの運行確保を図り、地域住民の福祉向上に資することを目的としております。

(2)についてお答えします。現場を確認したところ、21か所の路線バスの停留所があります。

次の(3)と(4)については関連しますので、一括してお答えします。バス停留所の通過予定時刻表示板の文字を見やすくする改善要望及び照明灯の設置要望につきまして

は、一般社団法人沖縄県バス協会が設置及び維持管理業務の窓口となっているため、今後当該団体へ確認を行ってまいります。以上です。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 答弁ありがとうございました。再質問いたします。ちょっと確認させてください。アナウンス時刻は3回の日というか、1回の日もありましたけれども、1日に何回やられていたんですか。それからいつからいつまでやられていたのか、教えてください。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。4月22日から行いまして、1日3回放送しています。午前8時半、正午の零時、午後6時30分。5月13日からは1日1回というふうに回数を減らしまして、これは午後6時半となっています。5月20日に終了しています。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 1日に8時30分、12時、6時30分の3回、それを4月22日から5月13日までやって、1回は5月20日までやられているという、そういう流れでいいですね。2月中旬に県内初の感染者が出ましたけれども、それは報道で皆さんご存じだと思いますけれども、本町在住の感染者が確認されたのはいつですか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 確認できたのは3月23日になります。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 2月中旬に県内初の感染者が出ました。それから1か月以上、3月23日ですから、南風原町のほうに感染者が出たと。その1か月以上経過しているわけですが、本町の広報活動でこの約2か月の差があるのは、どのような認識でしょうか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 国県等の動向を見まして、県が4月20日に緊急事態宣言を発したことから、このような流れになっています。以上です。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 県内初の感染者は2月の中旬で、南風原町のほうがアナウンスを始めたのは4月22日、約2か月間差があるのはどうしたことかという私の質問ですけれども、2か月間も期間があったというのは。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 防災行政無線は沖縄県が緊急事態宣言を発したことから活用しています。以上です。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございました。アナウンス情報に対する町民の反応はどうかと問いました。アナウンスを通して町民の皆様が感染拡大防止の行動を取っていただいたと認識していますとの答弁がありました。防災行政無線を使い、町全体に1日に数回、3回だったり1回だったりしますが、それを連日の情報発信することは今まではなかったと考えます。町民からはいろいろな声があったと思われませんが、こういった声が上がりましたか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 特に意見等は数件ございましたけれども。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どういった内容でしたか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 肯定的な意見もございましたし、否定的な意見もございました。以上です。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 それをもうちょっと詳しく述べられますか。否定的な意見は。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 肯定的な意見はアナウンスすることによって安心するという意見、否定的な意見は1日に3回も放送することの意見でした。以上です。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございました。私は必ずしも否定的だとは受け止められなくて、宣伝効果があったと受け止めたいです。アナウンスの内容に不要不急の外出は控えようとする。そのアナウンスの真意が町民にどの程度伝わったという認識かと問いました。アナウンス内容の不要不急の外出は控えようとはありますが、そのアナウンスの言わんとするところは、今は必要でもなく、急ぐものでもない外出は控えましょうということと理解します。不要不急をどう理解するかは度合いは各自それぞれだとは思いますが、不要不急の外出は控えようという行動の自粛が町民にどの程度伝わったかを検証することは、今後の防災行政無線での広報をするに当たり、参考になることだと私は考えます。町民をランダムに抽出して、アンケート調査をするなど、いろいろやり方はあると思いますが、その辺の検討はどうでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 今後、今第2波、第3波に向けての対応とか、そういった部分で沖縄県のほうが市町村と連携しながら今後の対応等を検討しているところです。そういった町独自でそういう検証とかという部分に対しては、まず県全体的な部分を見ながら、どういった検証の方法がいいのか、そういった部分で検討していきたいと思います。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございました。前向きにやってほしいと思います。未曾有の世界的な出来事である新型コロナウイルスの感染減少に対する本町の防災行政無線への対処策は、今後起こり得る事象にも本町自治体として何ができるかの可能性を示してくれたものだと私は思います。今回は新型コロナウイルス感染症予防対策として本町の防災行政無線システムがいかにも有効活用できているかを問いました。防災行政無線を活用し、町全体に1日に数回、連日の情報発信をすることは今までなかったと思います。今回はこの情報伝達のシステムが、今後起こり得る幾多の様々な状況にも有効活用できるかを探るいい機会になったと思います。まだまだ新型コロナウイルス感染は収束したわけではありませんが、アナウンスに関して、住民の反応をいろいろな角度から聞き取り調査をしていただきたい。先ほど部長からも答弁がありました。既成のマニュアルに甘んじることなく、本町に特化した防災アナウンスのマニュアルを作っていただきたい。いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 今後も有効に活用させていただきたいと考えております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございます。今回の新型コロナウイルス感染予防対策を検証し、それを踏まえての防災アナウンスマニュアルができることを期待して次の質問に移ります。

バス停留所の時刻表示板について、答弁ありがとうございました。生活バス路線確保対策事業とは何か。路線バスを利用する町民の利便性を図る目的と理解するが、どのような認識かを問いました。そこで問いますが、生活バス路線確保対策事業補助金というのは、令和2年は幾らの予算計上でしたか。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後2時11分）

再開（午後2時12分）

○議長 知念富信君 再開します。総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。102万円となっております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございました。たしか一昨年が108万円かな、大体同じラインだと思うんですけども、ところで事業補助金はほとんどが赤字路線への補助金として使われているのでしょうか。バス停などの管理運営費はどうなっているのでしょうか。その辺をお聞かせください。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 管理運営につきましては、バス会社のほうで行われていると認識しております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 管理運営はバス会社のほうで、それぞれのバス会社で出すと。ところで次の質問ですけれども、町内の路線バス停留所は幾つあるかという問いに21か所という奇数の21という数字が出たんですが、それは上り線、下り線の合計なんですか。どうなんでしょうか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。これは、上り、下りで1か所という形で考えております。ですから、両側に上り、下りがあるので、バス停の数としては2倍になるということとなります。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 ありがとうございます。42か所ですね。町内への参入路線のバス会社は何社でしょうか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えします。4社となっております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 沖縄県のバス協会は琉球バス、沖縄バス、那覇バス、東陽バスと4つあるんですけれども、その4つが全部参入しているということでいいですか。それと、路線バスに関する要望というのはどこに出すんですか、今回要望を出すとするば。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。先ほどご質問にお答えしたんですけれども、一般社団法人沖縄県バス協会が設置、維持管理業務の窓口となっているということで、そちらのほうに確認を取っていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 答弁では当該団体、要望すると私は理解しますが、具体的な会社名、当該団体というのはこの4つの、先ほど私が沖縄バス協会の4社を挙げましたが、その4つでいいですか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 4社に関しましては、おっしゃるように東陽バス、沖縄バス、琉球バス、那覇バスの4社となっております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございました。バス停留所の通過予定時刻表示板の文字が小さく見づらい、交通弱者の高齢者でも見やすい時刻表になるように、文字、数

字の書体や色、形などに工夫した時刻表示板を要望できないかと問いました。また、夜間、バス停に電灯がついていない、時刻表の確認や保安上のためにもバス停に灯りが当たるような工夫はできないかと問いました。先ほど当該団体はどういった団体かという確認をしましたら、4社だということの答弁をいただきました。その4社に確認を行ってまいりますとの答弁でしたが、確認を行ってまいるとは、要望していくということで理解しますが、再答弁をください。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。4つのバス会社のほうには、先ほど話したとおり、沖縄県のバス協会を通して、あちらが窓口になっていますので、こういう地域からの要望があるということで、まずはバス協会のほうに要望をしていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 確認を行っていくというのは、要望していくという理解でいいんですね。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 要望してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 どうもありがとうございます。そういうふうに理解します。交通弱者の高齢者にも配慮した時刻表示板の要望ということですが、時刻表の貼る位置など、背の低い人でも見やすいように配慮が欲しいものです。以前、新聞での報道によれば、運転手不足のためにバス運行回数が減少することになるとのニュースがありました。どうしてもバスを利用せねばならない人には、バス会社の経営状況がうまくいくようお願いながらも、是非とも要望したいところです。高齢者が増えていく中で、日常の用事が歩いて行ける隣近所ならいいのですが、どうしてもバスに頼る遠距離の利用者もおります。そのバス停留所が不整備だと非常に困るわけですが、高齢者は。いま一度バス会社に要望する執行部の答弁、意気込みをお聞かせください。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 ただいま時刻表の文字が見づらいとか、光が暗いというところがありましたので、まずはそのほうから、要望のほうをしていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 7番 大城 勝議員。

○7番 大城 勝君 是非よろしく申し上げます。以上で、私の質問を終わります。